



平成20年6月24日

各位

会社名 株式会社 飯田産業  
代表者名 代表取締役社長 兼井 雅史  
(コード番号 8880 東証第一部)  
問合せ先 取締役 専務執行役員 経営企画部長  
千葉 雄二郎  
(TEL. 0422-36-8848 (代表))

平成21年4月期の業績予想の補足説明について

平成20年6月23日に公表した平成20年4月期決算短信の「②通期の見通し」における来期の通期の業績見通しについて、特に利益において大幅に改善する見込みとなっておりますが、その趣旨・根拠について下記のとおり補足してご説明いたします。

記

1. 通期の業績予想と前期実績との比較

(1) 平成21年4月期通期業績予想数値と平成20年4月期決算における実績値  
(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

①連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成21年4月期通期業績予想(A)	128,390	7,580	6,450	3,530
前期実績(平成20年4月期通期)(B)	108,498	3,797	2,720	641
増加額(A-B)	19,892	3,783	3,730	2,889
増加率(%)	18.33%	99.63%	137.13%	450.70%

②個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成21年4月期通期業績予想(A)	112,200	6,500	5,620	3,070
前期実績(平成20年4月期通期)(B)	99,409	3,446	2,589	694
増加額(A-B)	12,791	3,054	3,031	2,376
増加率(%)	12.86%	88.62%	117.07%	342.36%

(2) 趣旨・根拠について

平成20年6月23日に公表した平成20年4月期決算短信の「②通期の見通し」における来期の通期の業績見通しについて、特に利益において大幅に改善すると予測している趣旨及び根拠をご説明いたします。

平成20年4月期において、営業利益および経常利益が大幅に低下した主要因は、原価率の上昇、販売管理費の増加によるものと分析しております。

このことから、平成21年4月期においては、木材などの住宅資材の価格の圧縮や優良な土地の適正価格での仕入の徹底などによって原価率の低下を図るとともに、販売管理費の徹底的な見直しによって、利益において、平成20年4月期と比べて大幅な改善を見込んでおりますが、前々期（平成19年4月期）に比べると、平成21年4月期の予想値の利益率は、前々期のそれを下回っており、なお改善の余地がある水準になっています。

また、純利益においては、平成20年4月期においては、特別損失の計上がありましたが、平成21年4月期においては、見込んでおりません。

以 上